

ニ關シテハ從來屢々日本領事ト交渉ヲ重ネタルモ效果ナク又昨年冬期日本漁船ノ上海ニ於ケル魚類販賣ヲ防止スル目的ヲ以テ上海稅關ニ於テ其ノ魚類ニ對シ一擔ニ付一元五角ノ重稅ヲ課スルコト、セルモ尙之ヲ抑止スルニ足ラス近來日本漁船ノ上海ニ至ルモノ愈々増加シ來リ其ノ内容ハ甚タ組織的ニシテ中國魚商トモ相當ノ聯絡アルモノ、如シ吾等同業者ハ此ノ「喪權辱國」並ニ經濟上ノ壓迫ニ對シ默示ス

ル能ハス茲ニ上海各魚商ニ命令シ日本漁船搬入魚類ノ買賣ヲ嚴禁シ徹底的抵制ノ實ヲ擧ケ以テ中國漁業ヲ保護シ主權ヲ保持セラレムコトヲ希望スル旨請願セル趣報道シ大イニ反對氣勢ヲ擧ケ居レリ別紙新聞切抜添付此段報告申進ス  
本信寫送付先 北平 南京 芝罘 關東廳

#### 4 中国国号改称問題

836 昭和5年5月(21)日

在南京上村領事より  
幣原外務大臣宛(電報)

楊文書局長が国民政府紀念週で日本の「支那」  
国号使用を批難について

第四二六號

南京 発  
本省 5月21日前着

十九日國民政府紀念週ニ於テ文書局長楊熙績ハ各種時事問題ニ付報告セルカ右ノ中日支關稅協定ニ關スル同人ノ演說要旨左ノ通

スルニ彼ハ何故我國ヲ支那ト稱スルヤ個人間ノ交際ニ於テスラ相手方ノ名前ヲ尊重スルニ國際間ニ於テハ猶更ノコトナリ日本ハ前清時代ニ大清國ト稱シ乍ラ今ヤ大中華民國ト稱セスシテ支那ト稱スルハ國民政府ヲ清國政府以下ニ取扱フモノナリ假ニ吾人カ彼ヲ倭奴ト爲シ國際上ノ文書ニ彼ヲ大倭奴國ト稱センカ日本ハ必ス之ヲ承知セサルヘシ今後日本側カ重ネテ斯ノ如キ無禮ノ字句ヲ使用スルトキハ我方ハ之ヲ返附スルト共ニ嚴シク詰責シ以テ國家ヲ辱シメサルコトヲ期スヘシ云々

上海、北平、奉天へ轉電セリ

837 昭和5年6月24日

在上海重光総領事より  
幣原外務大臣宛

日本が外交文書で「支那」国号を使用してい  
る事を批難する新聞論調報告

公信第八六九號

(7月5日接受)

昭和五年六月二十四日

在上海

總領事 重光 葵(印)

七 雜 件

集ノ際ハ本黨ノ對外政策第四第六兩條ヲ充分注意シ重ネテ不都合ナキ様セサルヘカラス關稅協定ニ關シテモ自分ノ特ニ言ハント欲スル處ハ日本カ國際上ノ文書ニ於テ今尙我國ヲ指シテ支那ト稱セルコトナリ我方ハ彼ヲ大日本帝國ト稱

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

日本ノ外交文書中ニ「支那」ナル名稱ヲ用ヒタルモノアリトノ新聞評論ニ關スル件

六月二十三日及二十四日ノ當地民國日報ハ「日本外交ノ失態」ト題シ日本ノ外交文書中ニ「中華民國」ノコトヲ「支那」ト呼稱シ居ルモノアリ然ルニ大毎ハ之レニ對シ詭辯の記事ヲ掲ケ居ルカ右ハ日本外交當局ノ國際禮節ヲ失念セル證ナルト共ニ國民新聞界ノ失言ナルニ付聊カ啓蒙スヘントテ「支那」「中華民國」及「日本」ナル名稱ノ起原及稱呼ヲ評述シ終リニ外交部ニ對シ外國ノ輕蔑スル所謂「支那」ノ外交當局トナラサル様希望ス云々ノ論評ヲ掲ケタル處其所論ハ大体五月十九日ノ國民政府紀念週ニ於テ文書局長楊熙績ノ爲シタル日支關稅協定ニ關スル演說ト同趣旨（南京發閣下宛電報第四二六號參照）ノモノナリ御參考迄<sup>（省略）</sup>新聞切抜添付此段報告申進ス

本信寫送付先 北平 南京

838 昭和5年10月29日

幣原外務大臣より  
浜口（雄幸）内閣總理大臣宛

カ一方政府ハ同年六月閣議ヲ經テ邦文公文書ニ用フヘキ同國號ニ關シ條約又ハ國書等將來中華民國ノ名稱ヲ用フル<sup>（付箋）</sup>コトヲ要スルモノハ別トシ帝國政府部内並帝國ト第三國トノ間ニ於ケル通常ノ文書ニハ今後總テ從來ノ清國ニ代フルニ支那ヲ以テスルコトヲ決定シ前記新政府承認ノ官報告示文ニハ支那共和國ヲ承認シタル旨ヲ記載セルカ爾後ニ於ケル慣行ハ條約國書等前記閣議決定中特例ヲ設ケタルモノニ付テモ實際上支那國又ハ支那共和國ノ呼稱ヲ用フルヲ例トシ來レリ

然ルニ右支那ナル呼稱ハ當初ヨリ同國側ノ好マサリシ所ニシテ殊ニ最近同國官民ノ之ニ對シ不滿ヲ表示スルモノ多キヲ加ヘタル觀アリ其ノ理由ノ當否ハ暫ク措キ我方トシテ右様支那側感情ヲ無視シテ從來ノ用例ヲ墨守スルノ必要ナキノミナラス近來本邦民間ノ用例ヲ見ルモ中華民國ノ呼稱ヲ使用スルモノ頓ニ増加シツアル狀況ナルニ顧ミ目下ノ處支那政府ヨリ本件改稱方ニ付何等申出來レル次第ニハアラスルモ此際我方ヨリ進テ從來ノ用例ヲ變更スルコト時宜ニ適スルモノト認メラル

七 雜 件

就テハ今後支那國ヲ表示スルニ付テハ條約國書等既ニ前記

中国国号呼称に関する閣議請議案

付 記 十月二十九日付 亜細亜局

「支那国号ノ呼稱ニ關スル件」

亜一機密第四九五號

昭和五年十月二十九日

外務大臣男爵 幣原 喜重郎

内閣總理大臣 濱口 雄幸殿

支那國號ノ呼稱ニ關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通閣議決定相成様致度右請議ス

（別紙）「支那国号ノ呼稱ニ關スル件」件名ノ右約半頁ヲアケ厚紙ヲ用フルコト

（別 紙）

支那國號ノ呼稱ニ關スル件

支那ニ於テハ清朝覆滅共和制樹立ト共ニ從前ノ國號清國ヲ中華民國ト改稱シ爾來幾度カ政治組織ノ變轉アリタルモ右中華民國ノ國號ハ一定不動ノ儘今日ニ及ヒ我方ニ於テモ大正二年十月六日在支帝國公使ヨリ共和制新政府ニ對スル承認通告ノ公文中「中華民國ヲ承認スル」旨ヲ明カニシタル

大正二年六月閣議ヲ以テ中華民國ノ呼稱ヲ使用スヘキコトヲ定メラレタルモノニ於テハ勿論其他國內又ハ第三國トノ間ニ用フル邦語公文書ニ於テモ中華民國ノ呼稱ヲ用フルコトヲ常則ト致度  
右閣議決定ヲ請フ

（付 箋） 本案ニ關シテハ條約局ヨリ法制局意見ヲ非公式照

會中ナリシ処十月二十七日法制局ヨリ異議無キ所

ナル旨内示アリタリ 神吉（印）

（付 記）

支那國號ノ呼稱ニ關スル件（五・一〇・二九）

本件ハ閣議請議手續中ノ処之ニ關聯スル事項左ノ通心得置クコトト致度

一、閣議決定ノ上ハ

イ、省内ニ「サーキュラー」ヲ廻スコト

ロ、關係在外公館ニ通報スルコト

ハ、主要他官廳ニ通報スルコト（枢密院關係）

（欄外記入一）

大正二年支那共和国承認ノ上奏ヲ為シ又告示ヲ發シ居ル  
処右ハ国家承認ノ上奏及告示ニシテ今回ノ改稱ハ政府部  
内ノ呼称用例ノ變更ニ過キス承認セラレタル国家ノ実体  
ニハ固ヨリ何等影響ヲ及ホスモノニ非ス又新聞発表ヲ為  
ササルハ事ヲ大袈裟ニセサル趣旨ナリ

(欄外記入二)

三、今回ノ決定ニ準シ支那国名ヲ中華、中国等ト畧称シ同  
国民ヲ中国人、民国人等ト畧称スル如キハ第二段ノ問題  
トシテ今後ノ慣行ニ委シ差支ナカルヘク但外務省トシテ  
是等ノ点ニ付標準ヲ設ケ置クコトハ便益多カルヘシ

四、地理的名称トシテ支那ト記載スル如キハ固ヨリ妨ケサ  
ルモノト思考ス

(欄外記入三)

五、今回ノ決定ハ今後ノ用例ニ関スルモノナルヲ以テ從來  
ノ法令等ニ現レタル支那国等ノ記載ヲ一々改ムル如キハ  
其ノ必要無ク即チ是等ニ記載セラレタル支那国ト今後用  
ヒラルル中華民國トハ同一ノモノト解スルヲ以テ足ルヘ  
シ但シ性質ニ依リ今回ノ決定ヲ機トシテ最近ノ時期ニ之  
カ改正ヲ計ルヲ適當トスルモノ有リ得ヘシ

(欄外記入一)

840 昭和5年11月1日

幣原外務大臣より  
在奉天林総領事、在中国矢野公使館  
書記官、在中国重光臨時代理公使、  
在漢口坂根総領事、在香港吉田総領  
事代理宛(電報)

中国国名に「中華民國」使用方訓令

本省 11月1日後11時30分発

合第五一二號

支那国名ニ関シテハ大正二年中閣議ヲ經テ條約又ハ国書等  
将来中華民國ノ名称ヲ用フルコトヲ要スルモノハ別トシ政  
府部内並帝國ト第三国トノ間ニ於ケル通常ノ邦語公文書ニ  
ハ従前ノ清国ニ代フルニ支那ヲ以テスヘキ旨決定シタルカ

内閣ヨリノ通牒アル旨ニ付其ノ要ナキコトトス  
(欄外記入二)

文書課長ハ中国人、民国人等ニ付決定ノ要アルヘキ旨述ヘ居  
ラレタリ

(欄外記入三)

文化事業部長ハ对支文化ノ对支ヲ東方トデモ改ムル為法律改  
正ノ要アルヘキカト述ヘ居ラレタリ

839 昭和5年10月31日 浜口内閣総理大臣より  
幣原外務大臣宛

中国呼称に關し閣議決定の旨指令

内閣外甲第八三号

(10月31日接受)

昭和五年十月三十一日

内閣総理大臣 濱口 雄幸〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

指令

昭和五年十月二十九日亞一機密第四九五號  
公文上支那國號ノ呼稱ニ関スル件請議ノ通

其後實際上ハ右条約国書等ニ於テモ支那国又ハ支那共和国  
ノ称ヲ用フルヲ慣例トシ来レル処客月三十一日閣議ヲ經テ

今後ハ条約国書等ハ勿論其ノ他国内又ハ第三国トノ間ニ用  
フル邦語公文書ニ於テモ中華民國ノ称ヲ用フルヲ常則トス  
ルコトヲ決定シタルニ付右御了知アリタシ委細郵報

奉天宛ニハ「在滿各館へ轉電アリタシ」

北平宛ニハ「天津、張家口、青島、芝罘、坊子、濟南、博  
山、張店へ轉電アリタシ」

上海、漢口、香港宛ニハ「至急情報」同様轉報アリタシ」  
ト各附記ノコト